

物理学会・領域2 アドバイザリー・ボード議事録(案)

日時： 2002年11月28日

場所： 核融合科学研究所

出席者： 下記

1. アドバイザリー・ボードの運営について

- ・ 2002年—2003年 ボード メンバー 確認 (下線：出席者)
伊藤 (NIFS), 大野 (名大・世話人), 木田 (NIFS), 兎玉 (阪大・世話人), 柴田 (京大), 高部 (阪大), 田中 (NIFS), 寺沢 (東大), 長崎 (京大・世話人), 藤田 (JARI), 藤原 (NIFS), 矢木 (九大), 吉田 (東大・領域代表)
 - * 物理学会誌編集員 (谷川先生) を加える.
 - * その他, メンバーの追加については適宜提案頂く.
- ・ ミッション
 - * 領域の活性化 (他領域との連関, セッション, シンポジウム)
 - * 魅力ある学会のありかた, アイデンティティーについて
 - * インフォーマル・ミーティングのためのマテリアル

2. 領域の運営について

- ・ 連絡体制の整備 (メールリスト)
 - * アドバイザー／領域一般 の二つの階層をつくる.
 - * 領域一般については, まずできるだけ情報を集めてスタートする. 会誌と学会会場で公式のアナウンスをながす.
- ・ インフォーマル・ミーティングのありかた
 - * 重要な問題の報告, 審議や協議が行なわれるよう議題をアドバイザリーボードで準備する.
 - * 学問的情報とストラテジック情報との両輪的なものになろう.
- ・ 領域代表, 世話人の選出
 - * アドバイザリーボードにおいて選出する. 選出方法の内規が必要.
- ・ 年会, 分科会におけるセッション・チェアマン
 - * チェアマンのリスト作りが必要. 事前に協力を依頼する.
 - * チェアマンのクレディビリティを確立する必要がある.

3. 領域2のカテゴリーについて

- ・ 領域のアイデンティティー

- * アイデンティティを表すキーワード
 - (1) 核融合プラズマ
 - (2) プラズマ宇宙物理
 - (3) プラズマ基礎
 - (4) プラズマ応用
- * プレナリー (あるいはシンポ) にして全体が聴けるようにする.
- キーワードの見なおし
- 領域横断型セッション
 - * テーマは毎回議論して決める (A,B → I.M)
 - * パラレルを避けるなどのプレミア・セッションにする.
 - * 秋の分科会に適用する. ポスターとの併用

4. シンポジウム, 招待講演について

- 推薦までのプロセス
 - * アドバイザリー・ボード → インフォーマル・ミーティング
- 基本的な考え方
 - * HPやメールなどで徹底する.

5. その他

- * 2003 年秋のシンポジウムと招待講演について. 原案を A. B. に連絡頂く. 趣旨は, プロジェクトを支える学理としてのプラズマ物理に重点をおく.